

団体紹介

- ・昭和11年(1936年)に設立された、県内で最も歴史の古い植物調査研究団体。
- ・山形県のフロラ(どんな種類の植物があるのか)解明のため、県内各地で調査を実施。
- ・これまで、山形県の植物誌(1972、1992)や新山形県野生植物目録(2019)等の県内の植物に関する文献を発刊。県レッドデータブック(植物版)発刊へも貢献。
- ・令和2年度から、やまがた緑環境税を活用した下記人材育成イベントを6年計画で実施。

活動内容

山形県の多様な生き物保全プロジェクト!!

～野生植物の調査に興味がある若手人材の発掘と育成～

最上会場

開催日: 令和6年6月23日(日) 9:30～16:00

場 所: 鮭川村エコパーク(鮭川村)

参加者: 15名(40代以下が4名、うち高校生2名)

※高生の参加は2年連続)

内 容:

①現地実習: 約4名の参加者に講師2名(フロラ山形会員)の体制で、施設周辺の里山(コナラ林)で、植物分類のポイントについて研修

②室内研修: 現地実習で採集した植物と図鑑により、観察した植物の同定ポイント等について復習



エコパークでの集合写真



「エコパーク」での分類研修

庄内会場

開催日: 令和6年11月10日(日) 9:30～16:00

場 所: 眺海の森(酒田市)

参加者: 12名(30代以下の参加者が5名、うち大学生1名、高校生2名 ※高校生のうち1名は最上会場にも参加)

内 容:

①現地実習: 最上会場と同様の体制で、森林学習館からひょうたん池を周遊する観察コースで、植物分類のポイントについて研修

②室内研修: 現地実習で採集した植物と図鑑により、観察した植物の同定ポイント等について復習



眺海の森での集合写真



「眺海の森」での分類実習

※ 実習では、前山形県レッドリスト等掲載種選定委員会(植物版)委員長の山形大学理学部 横山潤教授にも指導をお願いしています。

活動の成果と今後

- ・アンケート調査では、両会場とも全員が「分類のポイント等について理解できた」、庄内会場では参加者の全員、最上会場では参加者の約9割が「同様の研修会に今後も参加したい」と回答しており、活動の継続により若手人材の育成が期待できる。
- ・来年も、引き続き後継者の少ない庄内、最上地区での同活動を続けて行きたい。